

福井県DX推進プログラム ver.1.0

(案)

令和3年2月8日 現在

1

1 策定目的

DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは、「**デジタル技術を活用することにより、人々の生活をより良いものへと変革する**」こととされている。

今後、福井県においても、DXを積極的に推進し、新技術を**地域課題の解決や新たな価値創造**につなげていくことが必要である。

このため、本県の政策をDXの視点で整理した「福井県DX推進プログラム」を策定し、全庁を挙げて取組みを進めていくことにより、デジタル技術を活用して、県民のくらしの質を一層高める「**スマート福井**」の実現を目指す。

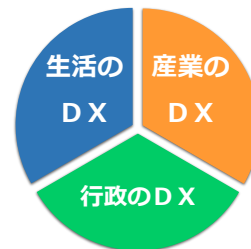
2 プログラムの位置づけ

生活・産業・行政の各分野におけるDX推進事業・プロジェクト等を取りまとめたもの。今後DX事業の拡充に合わせ、プログラムは随時更新していく。

（ver1.0においては、令和3年度事業等を中心に、今年度から先行して実施しているDX事業についてもあわせて記載しています。）

3 取組の方針

- ① **生活**のDX（くらしのデジタル化）
- ② **産業**のDX（しごとのデジタル化）
- ③ **行政**のDX（自治体のデジタル化）

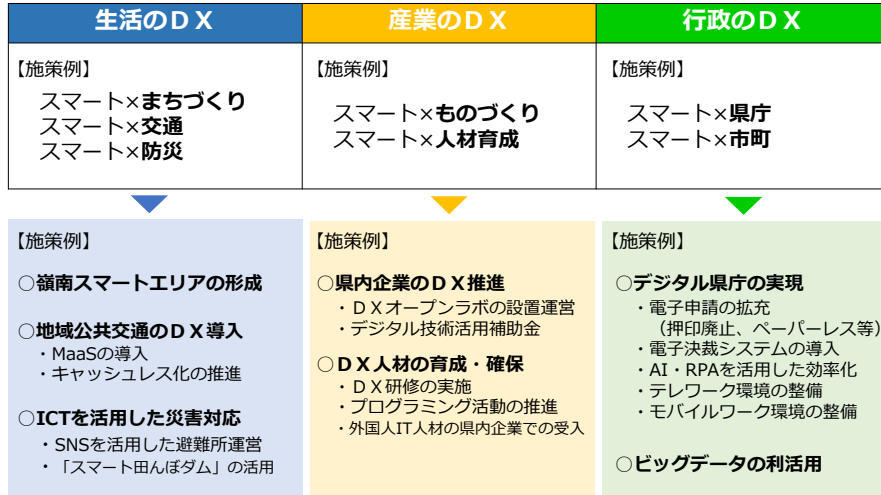


1

2

4 施策の方向性

「スマート×○○○」として、各分野においてDX事業を幅広く進めていく。また、技術革新がかつてないスピードで進んでおり、新技術をいち早く県の政策に取り入れていく必要があることから、トライアル枠予算等も活用しながら、新たな取組みに積極的にチャレンジしていく。



3

5 施策一覧

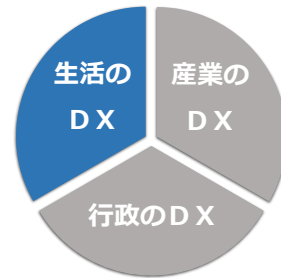
種別	ジャンル	取組み	ページ	種別	ジャンル	取組み	ページ
生活のDX	スマート×まちづくり	未来技術活用プロジェクトによる地域課題の解決	4	産業のDX	スマート×ものづくり	県内企業の生産工程の自動化促進	17
	スマート×まちづくり	嶺南スマートエネルギーエリアの形成	4		スマート×ものづくり	IoTを活用した企業間での情報共有	17
	スマート×交通	地域公共交通への新たなモビリティサービスの導入	5		スマート×サービス	デジタルパウチャーを活用した消費喚起	18
	スマート×福祉	自動応答システムを活用した相談窓口の案内	5		スマート×サービス	デジタル活用によるインバウンド消費拡大	18
	スマート×福祉	ロボット・ICT導入による介護職員の負担軽減	6		スマート×農業	ICTを活用したスマート農業	19
	スマート×福祉	AIを活用したインターネット誹謗中傷対策	6		スマート×農業	中山間地域農業のスマート化	19
	スマート×子育て	デジタルパスポートを活用した子育ての応援	7		スマート×農業	畜産経営のスマート化	20
	スマート×社会貢献	仮想通員を活用した新たなボランティアコミュニティの構築	7		スマート×林業	森林GISのクラウドシステムの構築	20
	スマート×結婚支援	AIマッチングシステムの運用による結婚支援	8		スマート×水産業	漁獲データ収集体制の高度化	21
	スマート×防災	SNSを活用した避難所運営	8		スマート×観光	デジタルマーケティングプラットフォームを活用した外国人向け情報発信	21
スマート×防災	「スマート田んぼダム」を活用した豪雨災害対策	9	スマート×観光	ICTを活用した外国人観光客のおもてなし向上	22		
スマート×防災	ため池水位の情報発信による防災・減災	9	スマート×観光	一乗谷朝倉氏遺跡でのバーチャル体験	22		
スマート×交通安全	テレマティクス技術を活用した安全運転の推進	10	スマート×県庁	デジタル県庁の実現	24		
スマート×教育	ICTを活用した「引き出す・楽しむ教育」の推進	10	スマート×県庁	財務会計事務におけるDX推進	24		
スマート×教育	オンライン授業等による県立高校の魅力化	11	スマート×県庁	農業農村整備工事積算業務のテレワーク環境対応	25		
スマート×教育	オンラインによる教職員の資質・能力の向上	11	スマート×県庁	AIを活用した道路データ等の収集・分析	25		
スマート×教育	ICTを活用した教職員の業務負担の適正化・効率化	12	スマート×県庁	AI音声対話サービスによる道路情報案内	26		
産業のDX	スマート×企業	県内企業のDX推進	14	スマート×県庁	道路施設データベースの導入	26	
	スマート×企業	DX人材の育成・確保	14	スマート×県庁	ビッグデータの利活用による政策立案	27	
	スマート×企業	オンラインを活用した新たな商談スタイルの促進	15	スマート×市町	市町におけるDXの推進	27	
	スマート×企業	県内企業のテレワーク推進	15	スマート×市町	マイナンバーカードの取得促進	28	
	スマート×企業	オンラインを活用した就職活動支援	16	スマート×広報広聴	デジタル広報の実現	28	
	スマート×企業	オンラインによる企業誘致の推進	16	スマート×広報広聴	自動応答システムを活用した県民相談	29	
				行政のDX	スマート×広報広聴	「現場でトーク」のオンライン化	29

2

4

生活のDX

生活のDXでは、**県民生活の質の向上**を目指し、未来技術を活かしたまちづくりや、MaaSなどの新交通システムの導入、福祉分野のICT活用、デジタル技術を活用した地域防災力の向上、教育分野のデジタル化などを推進する。



【主な分野】

スマート×まちづくり	スマート×結婚支援
スマート×交通	スマート×防災
スマート×福祉	スマート×交通安全
スマート×子育て	スマート×教育
スマート×社会貢献	

5

【取組み】

種別	ジャンル	取組み	ページ
生活のDX	スマート×まちづくり	未来技術活用プロジェクトによる地域課題の解決	4
	スマート×まちづくり	嶺南スマートエネルギーエリアの形成	4
	スマート×交通	地域公共交通への新たなモビリティサービスの導入	5
	スマート×福祉	自動応答システムを活用した相談窓口の案内	5
	スマート×福祉	ロボット・ICT導入による介護職員の負担軽減	6
	スマート×福祉	AIを活用したインターネット誹謗中傷対策	6
	スマート×子育て	デジタルパスポートを活用した子育ての応援	7
	スマート×社会貢献	仮想通貨を活用した新たなボランティアコミュニティの構築	7
	スマート×結婚支援	AIマッチングシステムの運用による結婚支援	8
	スマート×防災	SNSを活用した避難所運営	8
	スマート×防災	「スマート田んぼダム」を活用した豪雨災害対策	9
	スマート×防災	ため池水位の情報発信による防災・減災	9
	スマート×交通安全	テレマティクス技術を活用した安全運転の推進	10
	スマート×教育	ICTを活用した「引き出す・楽しむ教育」の推進	10
	スマート×教育	オンライン授業等による県立高校の魅力化	11
	スマート×教育	オンラインによる教職員の資質・能力の向上	11
スマート×教育	ICTを活用した教職員の業務負担の適正化・効率化	12	

3

6

未来技術活用プロジェクトによる地域課題の解決

生活のDX
スマート×まちづくり

施策の概要

■概要

国内外のスタートアップとのマッチング（スマートシティXプログラム）によるプロジェクトの誘致やシビックテックの推進など、未来技術を活用した地域課題の解決を図る。

■期待される効果

・未来技術による地域課題の解決

■内容

国内外の企業による地域課題解決のプロジェクト誘致

・国内外企業やスタートアップ企業が、地域とともに取り組む革新的な技術・サービスの県内での実証を支援（未来技術活用プロジェクト誘致補助金）

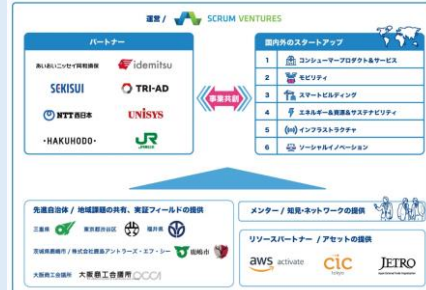
シビックテックによる地域課題の解決

・住民発の地域課題の掘り起こしとマッチングを図るワークショップ（アイデアソン・ハッカソン）の開催

■スケジュール

R3年度から開始

▼スマートシティXプログラムの関係機関



■補助対象者、連携先企業

（補助対象者）国内外スタートアップ企業 等
（連携先企業）スクラムベンチャーズ社 等

■予算額等

41,635千円（R3 当初）

■担当部局

地域戦略部未来戦略課

7

嶺南スマートエネルギーエリアの形成

生活のDX
スマート×まちづくり

施策の概要

■概要

地域内のエネルギー利用の最適化やICTを活用した魅力的なまちづくりなどを進め、人や企業を嶺南地域に呼び込む。

■期待される効果

- ・嶺南地域の定住人口の拡大や魅力アップ
- ・嶺南市町の特色を活かしたエリア形成
例：高浜町…ワーケーションを促進するスマートタウンを整備
敦賀市…VPPと空き店舗等を活用して次世代産業を誘致

■内容

嶺南スマートエリア推進補助金

・エリア形成に向けた嶺南市町の施策を支援

官民連携による新たな事業体の設立に関する調査

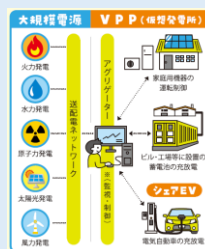
・エリア形成を推進する事業体の設立に向けた調査

VPPと連動したEVカーシェアの実証

・嶺南市町にEVを配備し、地域でシェア

■スケジュール

R2年度 スマートタウン整備のFS調査
R3年度 嶺南市町への補助制度創設



■事業主体

嶺南市町、嶺南スマートエリア推進協議会

■予算額等

48,343千円（R3 当初）

■担当部局

地域戦略部電源地域振興課

4

8

地域公共交通への新たなモビリティサービスの導入

生活のDX
スマート×交通

施策の概要

■概要

MaaSなどの新しい技術・手法の導入への支援や関連事業者との情報共有により、交通分野におけるDXを進め、地域住民や来県者の利便性向上を図る。

■期待される効果

- ・地域公共交通の利便性の向上、利用者の確保

■内容

新モビリティサービス推進事業補助金

- ・市町や交通事業者の新技术の導入を支援 等

新モビリティサービス検討会の開催

- ・公共交通に関する動的データ整備に向けた検討
- ・公共交通機関のキャッシュレス化の推進
- ・県内におけるMaaSの導入検討 等

■スケジュール

R元年度から補助・検討会を開始



■補助対象者

県内市町、交通事業者 等

■予算額等

9,497千円 (R3 当初)

■担当部局

地域戦略部交通まちづくり課

9

自動応答システムを活用した相談窓口の案内

生活のDX
スマート×福祉

施策の概要

■概要

LINE等を活用し、悩みを抱える県民が、自らの悩み事に合った相談窓口へ簡単にアクセスできる仕組みを整備することにより、適切な相談機関へ早期に導く。

■期待される効果

- ・相談者の負担軽減
- ・早期に適切な窓口につながることで、問題が悪化する前に必要な支援を実施

■内容

相談窓口検索ツールの整備

- ・県民が悩みごとにあった相談窓口を自ら検索できるツールを導入

■スケジュール

R2年度 3月に開設予定 (トライアル枠予算)

▼LINE等を活用した相談窓口検索ツール (イメージ)



■連携先企業

IT企業 等

■予算額等

165千円 (R2 トライアル枠予算)
1,320千円 (R3)

■担当部局

健康福祉部障がい福祉課

5

10

ロボット・ICT導入による介護職員の負担軽減

生活のDX
スマート×福祉

施策の概要

■概要

事業所における、介護ロボットやICTの導入を支援し、介護職員の負担を軽減する。

■期待される効果

- ・介護業務時間の短縮
- ・利用者への接触時間の削減
- ・施設の衛生管理・利用者の体調管理に要する時間の確保

■内容

介護・障がい福祉施設に対するロボットの導入を支援

- ・マッスルスーツ、見守りセンサーなど

介護・障がい福祉施設に対するICT導入を支援

- ・タブレット端末、クラウドサービスなど

■スケジュール

H30年度から補助を開始

▼介護ロボットを活用した介護の様子



■補助対象者

県内介護施設、障がい福祉施設

■予算額等

128,050千円（R2 2月補正）

■担当部局

健康福祉部長寿福祉課、障がい福祉課

11

AIを活用したインターネット誹謗中傷対策

生活のDX
スマート×福祉

施策の概要

■概要

AIシステムを活用し、インターネット上の新型コロナ等に係る誹謗中傷・差別投稿へのモニタリング体制を構築することにより、誹謗中傷・差別投稿を防止するとともに、被害者を支援する。

■期待される効果

- ・投稿削除手続きへの助言による被害者支援
- ・新型コロナ等の誹謗中傷や差別の防止

■内容

効率的なインターネットモニタリング体制を構築

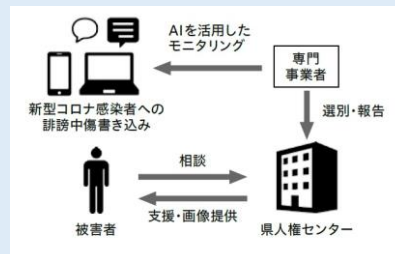
- ・SNS・掲示板サイトをAIや自動巡回システムを用いて検索・判定等を行い、問題投稿を抽出

被害者への支援

- ・被害者から相談があれば県から情報提供
- ・投稿削除手続きを助言・支援

■スケジュール

R2年度 11月から運用開始（新型コロナ関連）



■連携先企業・団体

インターネットモニタリング事業者、福井地方法務局 等

■予算額等

6,587千円（R2 2月補正）

■担当部局

健康福祉部地域福祉課

6

12

デジタルパスポートを活用した子育ての応援

生活のDX
スマート×子育て

施策の概要

■概要

子育てを応援する企業（「ふく育」応援団）が、デジタルパスポートを提示する子育て世帯に割引・優待を行うことにより、子育て世帯を応援する。

■期待される効果

- ・妊娠・出産・子育てを社会全体で応援する機運の醸成
- ・子育て世帯が安心して子育てできる環境の整備

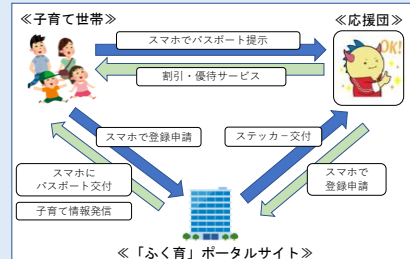
■内容

誰もが使いやすい専用サイトの構築

- ・スマートフォンやパソコンからいつでも手軽に簡単に利用できる「ふく育」ポータルサイトを構築
- ・応援団登録やサービス利用の申込等の手続きのオンライン化
- ・LINEを活用したプッシュアップ型の情報発信

■スケジュール

R3年度 10月からパスポート事業開始予定
（専用サイトは9月から運用開始予定）



■連携先企業

県内民間企業、県内店舗 等

■予算額等

19,690千円（R3 当初）

■担当部局

健康福祉部子ども家庭課

13

仮想通貨を活用した新たなボランティアコミュニティの構築

生活のDX
スマート×社会貢献

施策の概要

■概要

仮想通貨を活用し、無償ボランティアのスタイルに、有償ボランティアのエッセンスを取り入れる社会実験を実施することにより、新たなボランティアコミュニティの構築を図る。

■期待される効果

- ・若者世代のボランティア活動への参加促進
- ・ボランティア活動の自主性ややりがい、持続可能性の向上

■内容

仮想通貨を活用したボランティア活動の社会実験

- ・既存のアプリを活用し、ボランティア活動の対価として仮想通貨（コイン）をやりとりすることでボランティア活動を広げる社会実験を実施

■スケジュール

R元年度 11月から社会実験を開始



■連携先団体

県内NPO法人、地域活動団体、市町社会福祉協議会 等

■予算額等

アプリ：企業からの無償提供
事業費：886千円（R2）
1,000千円（R3 当初）

■担当部局

地域戦略部県民活躍課

7

14

AIマッチングシステムの運用による結婚支援

生活のDX
スマート×結婚支援

施策の概要

■概要

AIを活用したマッチングシステムを運用することにより、結婚を希望する人に新たな婚活サポートを提供する。

■期待される効果

- ・出会いの機会の拡充
- ・若い世代の婚活参加の促進

■内容

AIマッチングシステムの運用

- ・スマートフォンやパソコンを利用して、いつでも婚活が出来るマッチングシステムを運用

■スケジュール

R2年度 11月から運用開始（R3.4から本格運用）



■事業主体

ふくい結婚応援協議会

■予算額等

20,409千円（R3 当初）

■担当部局

地域戦略部県民活躍課

15

SNSを活用した避難所運営

生活のDX
スマート×防災

施策の概要

■概要

災害発生時の避難者に対して、SNSによる受付により、名簿管理のデジタル化、効果的な情報発信を行い、効率的な避難所運営を目指す。

■期待される効果

- ・避難者向け情報発信の充実
- ・市町職員の運営作業の負担軽減

■内容

情報発信機能の拡張

- ・SNSを活用して、避難所ごとに物資配給等の生活情報を発信

避難者情報の入力作業の自動化

- ・SNSのQRコードを活用した避難者情報の入力・収集

■スケジュール

R2年度 総合防災訓練においてデモ運用
R3年度 運営システムの仕様検討・開発
R4年度 運営システムの運用開始



■連携先企業

LINE株式会社

■予算額等

36,987千円（R2 2月補正）

■担当部局

安全環境部危機対策・防災課

8

16

「スマート田んぼダム」を活用した豪雨災害対策

生活のDX
スマート×防災

施策の概要

■概要

近年多発する豪雨災害への対策として、「スマート田んぼダム」の実証を行い、その防災上の効果を検証する。

■期待される効果

- ・水田の持つ雨水貯留機能による豪雨災害対策

■内容

自動給排水栓および遠隔操作システムの設置

- ・実証対象の全圃場に自動給排水栓を整備

豪雨時の一斉操作体制の構築

- ・地域において一斉操作（給水停止、事前排水、貯留、流出制限）を行う体制を構築

■スケジュール

R3～4年度 実証および効果検証



■事業主体

県、県内市町、土地改良区

■予算額等

30,000千円（R3 当初）

■担当部局

農林水産部農村振興課

17

ため池水位の情報発信による防災・減災

生活のDX
スマート×防災

施策の概要

■概要

豪雨時のため池水位の情報を発信し、ため池の決壊や一部損壊等による水害等の災害から地域住民の生命および財産を保護する。

■期待される効果

- ・地域住民の安全・安心

■内容

観測機器の設置

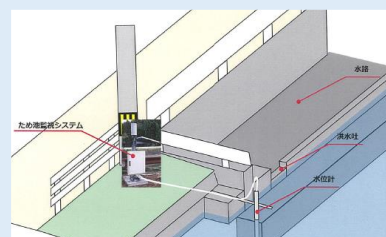
- ・防災重点農業用ため池に観測機器を設置し、24時間365日連続監視

災害情報インターネットシステムでの公表

- ・情報をどこからでも利用可能

■スケジュール

R4年度から観測機器を設置（R3年度は地元調整）



■事業主体

県内事業者

■予算額等

0千円（R3 当初）

■担当部局

農林水産部農村振興課

9

18

テレマティクス技術を活用した安全運転の推進

生活のDX
スマート×交通安全

施策の概要

■概要

テレマティクスタグを自動車に装着させ、ブレーキやハンドル操作等の状況を数値化し、運転者にフィードバックする。

■期待される効果

- ・安全運転に対する意識向上

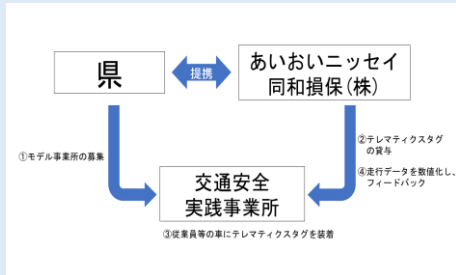
■内容

テレマティクスデータの収集・分析・活用

- ・県が認定する交通安全実践事業所（約800社）からモデルとなる事業所を募集
- ・従業員等の車にテレマティクスタグを装着。走行データを収集し、運転者等へ結果をフィードバックすることにより、安全運転に対する意識を向上

■スケジュール

R3年度 6月頃から貸与開始



■連携先企業

あいおいニッセイ同和損保株式会社、交通安全実践事業所

■予算額等

0千円 (R3)

■担当部局

安全環境部県民安全課

19

ICTを活用した「引き出す・楽しむ教育」の推進

生活のDX
スマート×教育

施策の概要

■概要

ICT機器を活用し、子どもの個性を「引き出す教育」、知的好奇心や探究心を持って学びを自ら進んで「楽しむ教育」を推進する。

■期待される効果

- ・個に応じた学びの場の充実
- ・児童生徒の主体的な学びの促進
- ・地域に貢献しようとする心の育成

■内容

拠点校を中心に「引き出す・楽しむ教育」を実践
「ふくいわくわく学びWEB」を開設

「ふるさと自慢プレゼンテーション」の開催
児童生徒が作成した「ふるさと福井」の動画等を道の駅やJRの待合室で放映

ICT活用研究グループへの支援

ICT関連の活動を行うクラブへの支援

高志中学校に学習者用デジタル教科書を導入

■スケジュール

R3年度から開始予定



■事業主体

県・市町教育委員会

■予算額等

1,018千円 (R3 当初 「引き出す・楽しむ教育」実践に関する研修)

4,500千円 (R3 当初 ICT関連研究グループ・クラブへの支援)

3,663千円 (R3 当初 学習者用デジタル教科書導入)

■担当部局

教育庁義務教育課、教職員課、教育政策課

10

20

オンライン授業等による県立高校の魅力化

生活のDX
スマート×教育

施策の概要

■概要

全県立学校に整備した1人1台のタブレット端末を活用し、学校の枠を超え地域や世界と繋がる教育を提供する。

■期待される効果

- ・地域の高校に通いながら希望する進路を実現
- ・地域と協働した特色あるカリキュラムの実践
- ・グローバルな交流を通じた英語の話す力の向上

■内容

同時双方向で学校同士を繋いだ合同授業
産業界や行政、大学とのオンライン課題研究の実施
同じ進路を志す他校生徒との学び合い、個別学習の実施
海外姉妹校等とのオンライン交流や合同サークル活動

■スケジュール

R2年度 試運用（トライアル枠予算）
R3年度 実施



■事業主体

県教育委員会、海外姉妹校

■予算額等

6,395千円（R2 2月補正）※オンライン英会話
1,050千円（R3 当初）※大学との課題研究
689千円（R3 当初）※外部講師による授業の
オンライン受講

■担当部局

教育庁高校教育課、教職員課、教育政策課

21

オンラインによる教職員の資質・能力の向上

生活のDX
スマート×教育

施策の概要

■概要

オンラインを活用した教職員のネットワーク構築、研修の実施により、教職員の資質・能力の向上を図る。

■期待される効果

- ・教職員の資質・能力の向上
- ・地域による教育格差の是正

■内容

地域・教科単位の教員ネットワークの構築

- ・小教研 研究集会の発表資料をHPに掲載
- ・中教研 研究成果を電子媒体で共有

オンライン授業の活用による専門教科の指導実施

- ・免許所有者のいない小規模校に対して授業を実施

通信研修や遠隔研修への移行

- ・県内全小中県立学校に配備した遠隔授業・研修システムを活用

■スケジュール

R3年度から開始予定



■事業主体

県・市町教育委員会

■予算額等

9,668千円（R3当初）※遠隔授業・研修システム

■担当部局

教育庁教職員課、義務教育課

1 1

22

ICTを活用した教職員の業務負担の適正化・効率化

生活のDX
スマート×教育

施策の概要

■概要

従来の紙ベースで行ってきた業務をペーパーレス化、デジタル化することで、学校業務の効率化を図り、負担軽減を目指す。

■期待される効果

- ・教職員の業務の効率化
- ・県民サービスの向上

■内容

ICTを学校業務に活用

- ・アンケートや出欠確認などをオンライン化
- ・ペーパーレス化による押印の廃止

校務支援システムの活用

- ・学校業務の効率化

WEB出願・合格発表システムの導入

- ・教職員と受験生双方の手続等の時間の縮減

PTAにおけるICTの活用への支援

- ・オンライン会議等による参加者の拡大

■スケジュール

R3年度から開始予定(校務支援システムは運用中)
※WEB出願はR4年度の入学者選抜より



■事業主体

県・市町教育委員会

■予算額等

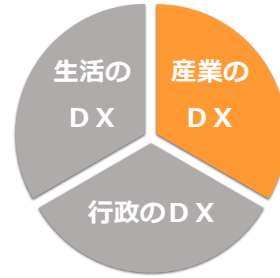
29,531千円 (R2 2月補正) ※WEB出願

■担当部局

教育庁教職員課、高校教育課、義務教育課

産業のDX

産業のDXでは、**DXによる県内企業の高付加価値化**を目指し、ビジネスモデルの変革や業務の効率化、IT人材の確保・育成、スマート農林水産業やデジタル技術を活用した新たな観光施策などを推進する。



【主な分野】

スマート×企業

スマート×農林水産業

スマート×ものづくり

スマート×観光

スマート×サービス

25

【取組み】

種別	ジャンル	取組み	ページ
産業のDX	スマート×企業	県内企業のDX推進	14
	スマート×企業	DX人材の育成・確保	14
	スマート×企業	オンラインを活用した新たな商談スタイルの促進	15
	スマート×企業	県内企業のテレワーク推進	15
	スマート×企業	オンラインを活用した就職活動支援	16
	スマート×企業	オンラインによる企業誘致の推進	16
	スマート×ものづくり	県内企業の生産工程の自動化促進	17
	スマート×ものづくり	IoTを活用した企業間での情報共有	17
	スマート×サービス	デジタルバウチャーを活用した消費喚起	18
	スマート×サービス	デジタル活用によるインバウンド消費拡大	18
	スマート×農業	ICTを活用したスマート農業	19
	スマート×農業	中山間地域農業のスマート化	19
	スマート×農業	畜産経営のスマート化	20
	スマート×林業	森林GISのクラウドシステムの構築	20
	スマート×水産業	漁獲データ収集体制の高度化	21
	スマート×観光	デジタルマーケティングプラットフォームを活用した外国人向け情報発信	21
	スマート×観光	ICTを活用した外国人観光客のおもてなし向上	22
	スマート×観光	一乗谷朝倉氏遺跡でのバーチャル体験	22

1 3

26

県内企業のDX推進

産業のDX
スマート×企業

施策の概要

■概要

県内企業のデジタル技術の導入促進やデジタル化のレベルアップを図り、ビジネスモデル等の変革を目指すことで、県内企業のDXを推進する。

■期待される効果

- ・県内企業の業務効率化、付加価値の向上

■内容

DX推進体制の整備

- ・DX戦略アドバイザーによる伴走支援、DX研究会による先進事例共有、セミナー・専門家派遣等
- ・DXオープンラボの開設・運営
- ・外国人IT人材受入のためのモデル的な雇用

デジタル技術導入に対する資金的支援

- ・企業のデジタル技術導入に対する資金的支援

■スケジュール

R3年度から実施

■支援体制の強化



DX戦略アドバイザー



DX推進チーム

■事業主体、連携先

(事業主体) (公財) ふくい産業支援センター
(連携先) (一社) 福井県情報システム工業会 等

■予算額等

141,427千円 (R3 当初)

■担当部局

産業労働部創業・経営課

27

DX人材の育成・確保

産業のDX
スマート×企業

施策の概要

■概要

企業内のDX人材や将来的に県内企業のDX人材となり得る人材の育成・確保を行う。

■期待される効果

- ・企業のDX人材の育成・確保

■内容

DX人材の育成・確保

- ・社内人材を育成するためのDX研修の実施
- ・ITベンダー企業のレベルアップを図る研修の実施
- ・学生・転職者等向けITスクールの開講
- ・地域でのプログラミング活動の推進

■スケジュール

R3年度から実施



■事業主体、連携先

(実施主体) (公財) ふくい産業支援センター、
福井県こどもプログラミング協議会
(連携先) (一社) 福井県情報システム工業会 等

■予算額等

33,743千円 (R3 当初)

■担当部局

産業労働部創業・経営課

14

28

オンラインを活用した新たな商談スタイルの促進

産業のDX
スマート×企業

施策の概要

■概要

新しい生活様式に対応した県内企業の営業活動を推進するため、サンプル展示を併用する遠隔商談等の新たなスタイルによる自社製品の展示・商談等を支援する。

■期待される効果

- ・県内企業の事業継続・売上向上

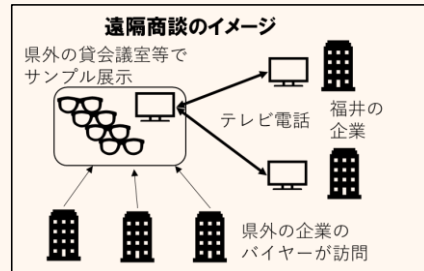
■内容

オンラインを活用した新スタイル商談への支援

・単独または複数の製造業者が協力し実施する、新たな商談スタイル（オンラインを活用した遠隔商談、VR映像配信のオンライン展示会等）の取組にかかる経費を補助

■スケジュール

- R2年度 10月から実施
- R3年度以降も継続して実施



■補助対象者

県内製造業者 等

■予算額等

45,000千円（R2 9月補正）
37,500千円（R2 2月補正）

■担当部局

産業労働部産業技術課

29

県内企業のテレワーク推進

産業のDX
スマート×企業

施策の概要

■概要

県内企業において、新しい生活様式に対応し、多様な人材が活躍できる働き方を促進するため、在宅勤務（テレワーク）の一層の普及を推進する。

■期待される効果

- ・テレワークの定着
- ・多様な人材の就業機会の創出

■内容

テレワークセミナーの実施

・テレワークの導入・定着に関するセミナー、相談会の開催

テレワーク利用促進補助金

・テレワーク制度を導入する際に必要となる情報通信機器の導入経費を補助

■スケジュール

R3年度から実施



■補助対象者

県内企業

■予算額等

6,947千円（R3 当初）

■担当部局

産業労働部労働政策課

15

30

オンラインを活用した就職活動支援

産業のDX
スマート×企業

施策の概要

■概要

コロナ禍において、学生が県内企業の魅力に触れる機会を増加させることにより、県内定着やUIターン就職を促進する。

■期待される効果

- ・学生による県内企業の認知度向上
- ・就活情報収集（企業情報、UIターン情報、就活情報）の容易化
- ・県内就職の促進

■内容

オンライン企業説明会の開催

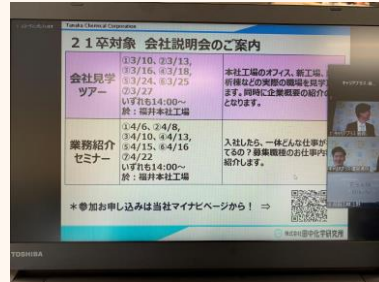
- ・従来の対面式に加え、オンラインでも合同説明会を開催

就職支援や企業の情報発信の強化

- ・WEB広告やデジタルコンテンツの充実

■スケジュール

- ～R3秋 情報発信強化、セミナー
- R3冬季 オンライン企業説明会



■連携先企業

県内企業

■予算額等

11,058千円（R3 当初）

■担当部局

交流文化部定住交流課

31

オンラインによる企業誘致の推進

産業のDX
スマート×企業

施策の概要

■概要

都市圏の企業を中心にテレワークが加速していることを契機として、従来型の企業訪問による誘致活動に加え、オンラインでの企業誘致も実施する。

■期待される効果

- ・本社機能、オフィス等の県内進出
- ・UIターン者の雇用による人口流入

■内容

企業立地オンラインセミナーの実施

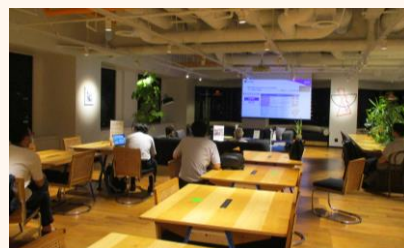
- ・福井の魅力を紹介するオンラインセミナーを開催

オンライン現地視察の実施

- ・産業用地や空き物件等の視察をオンラインで実施

■スケジュール

- R2年度からオンラインセミナーを実施（トライアル枠予算）



■連携先企業

WeWork 等

■予算額等

3,816千円（R3 当初）

■担当部局

産業労働部企業誘致課

16

32

デジタルバウチャーを活用した消費喚起

産業のDX
スマート×サービス

施策の概要・イメージ

■概要

県内の小売・サービス業店舗で利用できる電子クーポン（バウチャー）を発行することにより消費を喚起し、県内経済の早期回復を図る。

■期待される効果

- ・ ウィズコロナ時代に対応した非接触型の消費喚起
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で特に大きな打撃を受けている業種の早期回復

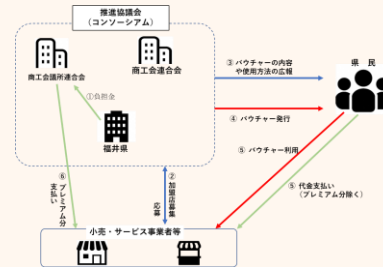
■内容

デジタルバウチャーの発行

- ・ スマホの専用アプリに配信される電子クーポンを事業参加店で提示することで、割引を受けて買い物が可能
- ・ 全業種対象のほか特に大きな打撃を受けている業種を対象を限定した電子クーポンも併せて発行

■スケジュール

- R2年度 12月15日～ 参加店募集開始
1月16日～3月10日 電子クーポン発行・利用
※ R3年度は精査中



■事業主体、連携先企業

（事業主体）福井県商工会議所連合会、
福井県商工会連合会
（連携先企業）県内小売業・サービス業店舗

■予算額等

627,534千円（R2 9月補正）
300,000千円（R3 当初）

■担当部局

産業労働部産業政策課

35

デジタル活用によるインバウンド消費拡大

産業のDX
スマート×サービス

施策の概要・イメージ

■概要

個別の店舗では対応が難しい商品・サービスの多言語化やマーケティング情報の収集等をデジタル技術を使って進めることにより、外国人観光客等による地域での消費拡大を図る。

■期待される効果

- ・ 店舗でのインバウンド対応の向上
- ・ 外国人観光客等による消費拡大

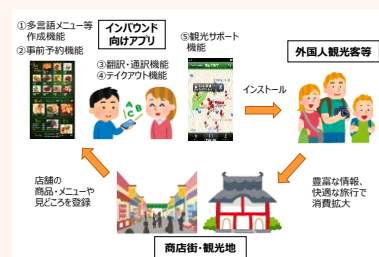
■内容

インバウンド消費支援ツールの導入促進

- ・ 多言語表記による個別店舗の情報発信や商品のオーダー、消費動向データ収集を可能とするアプリを制作

■スケジュール

- R2年度 アプリ制作・稼働
R3年度 参加店舗拡大



■事業主体、連携先企業

（事業主体）まちづくり会社
（連携先企業）県内小売・サービス業店舗、IT企業

■予算額等

15,000千円（R2 9月補正）
22,575千円（R3 当初）

■担当部局

産業労働部産業政策課

1 8

36

ICTを活用したスマート農業

産業のDX
スマート×農業

施策の概要

■概要

自動走行機やドローン等を活用したスマート農業を普及し、県内農家の生産性を向上するとともに、農業への参入者を確保する。

■期待される効果

- ・ 県内農家の生産性向上
(生産コストの低減、生産量増加)
- ・ 県内就農者の確保

■内容

スマート農業の実証

- ・ 自動走行トラクタ、自動給水栓による労働時間の削減、ドローンの生育診断や収量コンバインによる収量向上について実証

高精度作業を可能にするインフラ整備

- ・ GPS基地局の整備とICT農機の導入支援

■スケジュール

R2年度 3月までにGPS基地局の運用開始



■補助対象者

農業共済組合、各地区協議会 等

■予算額等

264,952千円 (R3 当初)

■担当部局

農林水産部園芸振興課

37

中山間地域農業のスマート化

産業のDX
スマート×農業

施策の概要

■概要

傾斜が急で生産条件が不利な中山間地域において、負担となっている草刈りや農薬散布作業を行える機械の導入を支援することにより、農地を保全し、営農の継続を図る。

■期待される効果

- ・ 農作業の負担軽減
- ・ 営農の継続
- ・ 農地の保全

■内容

草刈・防除作業の省力化

- ・ ラジコン式草刈機や農薬散布ドローンの導入を支援

■スケジュール

R2年度 市町から農業者への要望調査

R3年度 農業者への導入支援



ドローンによる農薬散布

ラジコン式草刈機

■補助対象者

農業者

■予算額等

13,050千円 (R3 当初)

■担当部局

農林水産部中山間農業・畜産課

19

38

畜産経営のスマート化

産業のDX
スマート×農業

施策の概要

■概要

長時間労働になりがちな畜産業において、家畜の行動や分娩兆候をセンサーで測定しデータベース化、IoTによる情報共有を図ることにより、業務の効率化を目指す。

■期待される効果

- ・見回り等の労働時間の削減
- ・家畜の行動や分娩兆候の正確な把握
- ・新規就農、後継者就農の促進

■内容

省力機械の導入支援

- ・モニタリングシステム等の導入にかかる初期費用を支援

■スケジュール

- R3年度 市町による農家への要望調査
- R4年度 畜産農家へのシステム導入



生産関連情報	
個体識別情報	乳量・乳成分情報
人工授精情報	疾病履歴情報

【写真 株式会社ファームノート提供】

■補助対象者、連携先企業

(補助対象者) 畜産農家
(連携先企業) NTTテクノクロス株式会社、株式会社ファームノート、株式会社コムテック

■予算額等

33,000千円 (R3 当初)

■担当部局

農林水産部中山間農業・畜産課

39

森林GISのクラウドシステムの構築

産業のDX
スマート×林業

施策の概要

■概要

新たな森林管理システムやスマート林業を円滑に推進するため、森林GISのクラウドシステムを構築し、業務の高度化および効率化を図る。

■期待される効果

- ・林業行政の事務処理の効率化
- ・高精度および大容量の森林情報の共有、相互利用
- ・森林GISの維持管理コスト軽減

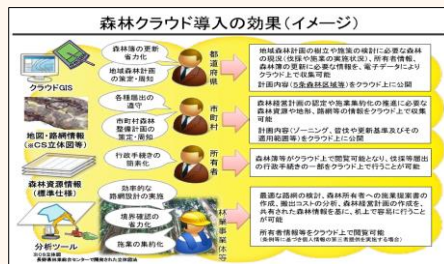
■内容

森林GISの業務分析

- ・森林GISのクラウドシステムに向けた業務分析・診断、システムの構築

■スケジュール

- R3年度 森林GISの新システム構築に係る事前調査・検討
- R4年度 森林GISの新システム構築



■連携先企業

IT企業 等

■予算額等

7,183千円 (R3 当初)

■担当部局

農林水産部森づくり課

20

40

漁獲データ収集体制の高度化

産業のDX
スマート×水産業

施策の概要

■概要

適切な漁獲可能量の決定と管理を維持するため、市場からのデータ送信の自動化を図り、水揚げ情報の即時収集体制を強化する。

■期待される効果

- ・迅速かつ的確な漁獲情報の収集

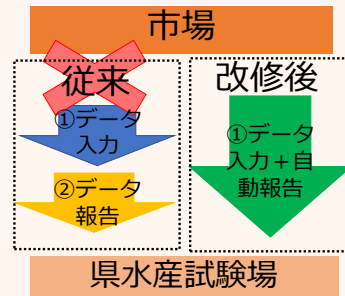
■内容

市場の販売データの自動送信

- ・市場の販売データを県水産試験場に自動転送し、データの収集体制を高度化

■スケジュール

R2年度中に一部漁協で整備



■補助対象者、連携先企業

(補助対象者) 県内漁業協同組合、福井県漁業協同組合連合会
(連携先企業) 株式会社西日本情報システム、三谷商事株式会社

■予算額等

3,218千円 (R3 当初)

■担当部局

農林水産部水産課

41

デジタルマーケティングプラットフォームを活用した外国人向け情報発信

産業のDX
スマート×観光

施策の概要

■概要

ウィズコロナ・アフターコロナ時代に本県への訪問が期待される潜在観光客に向けてデジタル技術を駆使したパーソナライゼーション型の情報発信を行う。

■期待される効果

- ・本県の認知度の向上
- ・新型コロナウイルス感染症終息後の外国人旅行者の増加

■内容

デジタルマーケティングプラットフォームの導入

- ・AI等を駆使したオーダーメイド型の情報発信
- ・SNSやウェブ広告を駆使した効率的なPR

■スケジュール

R3年度 インバウンド向けHPのリニューアルにあわせプラットフォームを導入



■連携先企業

IT企業等

■予算額等

36,315千円 (R3 当初)

■担当部局

交流文化部観光誘客課

2 1

42

ICTを活用した外国人観光客のおもてなし向上

産業のDX
スマート×観光

施策の概要

■概要

外国人観光客の快適な旅行環境を整え、消費拡大を図るため、市町との協働により重点整備エリアを選定し、キャッシュレス決済等を面的に整備する。

■期待される効果

- ・旅行者の利便性・満足度向上

■内容

観光事業者向けインバウンドビジネスセミナーの開催

- ・県内事業者向けに、キャッシュレス決済などをテーマとしたセミナーを開催

重点整備エリア内における受入環境整備補助金

- ・無料公衆無線LANや小売店等のキャッシュレス決済等の導入経費を支援

■スケジュール

R2年度～4年度



■補助対象者

県内市町、県内事業者

■予算額等

62,640千円（R3 当初）

■担当部局

交流文化部観光誘客課

43

一乗谷朝倉氏遺跡でのバーチャル体験

産業のDX
スマート×観光

施策の概要

■概要

一乗谷朝倉氏遺跡内の無料Wi-Fiを活用し、ARやVRなどの最新技術による遺跡の案内を実施する。

■期待される効果

- ・歴史知識のない来訪者への魅力的な体験の提供
- ・若者層の来訪者の増加

■内容

一乗谷朝倉氏遺跡の受入環境整備支援

- ・遺跡内の無料Wi-Fiの整備
- ・AR等最新技術による遺跡案内

■スケジュール

R3年度 無料Wi-Fi整備、AR等制作
R4年度 10月までに来訪者へコンテンツを提供



■事業主体、連携先企業

（事業主体）一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会
（連携先企業）株式会社NTTドコモ、IT企業等

■予算額等

10,000千円（うちDX関連経費6,700千円）
（R3 当初）

■担当部局

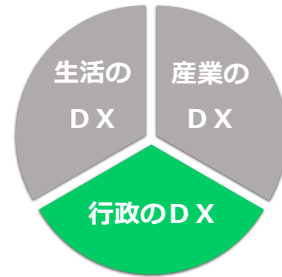
交流文化部文化課

2 2

44

行政のDX

行政のDXでは、**デジタル自治体の実現**を目指し、県と市町が連携して、電子申請の拡充（押印廃止、ペーパーレス化）やテレワーク環境の充実、ビッグデータの収集・分析や政策への応用、広報広聴の分野のデジタル化などを推進する。



【主な分野】

スマート×**県庁**

スマート×**広報広聴**

スマート×**市町**

45

【取組み】

種別	ジャンル	取組み	ページ
行政のDX	スマート×県庁	デジタル県庁の実現	24
	スマート×県庁	財務会計事務におけるDX推進	24
	スマート×県庁	農業農村整備工事積算業務のテレワーク環境対応	25
	スマート×県庁	AIを活用した道路データ等の収集・分析	25
	スマート×県庁	AI音声対話サービスによる道路情報案内	26
	スマート×県庁	道路施設データベースの導入	26
	スマート×県庁	ビッグデータの利活用による政策立案	27
	スマート×市町	市町におけるDXの推進	27
	スマート×市町	マイナンバーカードの取得促進	28
	スマート×広報広聴	デジタル広報の実現	28
	スマート×広報広聴	自動応答システムを活用した県民相談	29
	スマート×広報広聴	「現場でトーク」のオンライン化	29

2 3

46

デジタル県庁の実現

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■概要

ニューノーマルに対応するため、デジタルツール導入、ネットワーク環境の整備を行い、県庁の働き方改革、県民サービスの向上を図る。

■期待される効果

- ・県庁の働き方改革の推進
- ・県民サービスの向上

■内容

- ①電子決裁・文書管理システムの導入
- ②電子申請の拡充
(押印の廃止、ペーパーレス、ワンスオンリーの徹底)
- ③県・市町共同「ファイル共有システム」の利用
- ④テレワーク環境の維持
- ⑤モバイルワーク端末の利用環境運用
- ⑥AI・RPA技術を活用した事務処理の効率化
- ⑦出先機関の行政情報ネットワーク無線LAN化
- ⑧Web会議実施のため職員用端末の更新

【福井県官民データ活用推進計画(案)】

■スケジュール

- R元年度～⑥ R2年度～③④⑤⑧
R3年度～①②⑦



■連携先企業

日本マイクロソフト株式会社、IT企業 等

■予算額等

625,786千円 (R2 2月補正) (統計情報課)
11,628千円 (R3 当初) (情報公開・法制課)

■担当部局

総務部人事課、情報公開・法制課、
地域戦略部統計情報課

47

財務会計事務におけるDX推進

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■概要

デジタル時代にふさわしい財務会計事務へと見直すための新システムを導入する。

■期待される効果

- ・効率的な財務会計事務の推進
- ・手数料のキャッシュレス決済の促進

■内容

新財務会計システム構築に係る業務改革

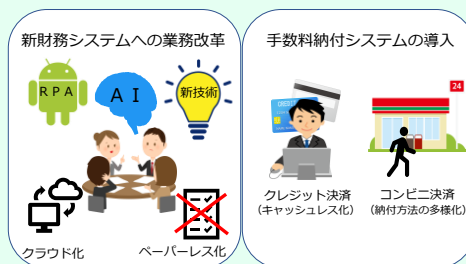
- ・財務会計事務の見直し(簡素化・合理化)
- ・AI等の新技術の活用を検討
- ・効率的かつ効果の高い新システム導入を推進

手数料納付システムの導入

- ・納付方法の多様化への対応
(コンビニ決済・クレジットカード決済の導入)
- ・手数料収納状況のデータベース化
(いつ、どこで、誰が、何を支払ったかリアルタイム確認)

■スケジュール

R3年度から実施



■連携先企業

IT企業 等

■予算額等

60,737千円 (R2 2月補正)
※R4年度以降分については精査中

■担当部局

会計局審査指導課

24

48

農業農村整備工事積算業務のテレワーク環境対応

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■概要

コロナ禍や有事の際でもテレワーク環境において農業農村整備工事の積算業務を継続できるようにシステム改修を行う。

■期待される効果

- ・災害時に自宅にて積算業務が可能
- ・県庁の働き方改革の推進

■内容

農業農村整備工事積算システムの改修

- ・積算システムをテレワーク環境対応に改修
- ・災害復旧作業の迅速化
(市町等災害応援時に外部より復旧額算出等)
- ・職員のテレワーク環境整備
- ・工事監督職員の働き方改革推進
(工事現場より概算工事費算出等)

■スケジュール

R3年度 夏頃運用開始予定



■連携先団体

(一社) 農業農村整備情報総合センター

■予算額等

6,424千円 (R2 2月補正)

■担当部局

農林水産部農村振興課

49

AIを活用した道路データ等の収集・分析

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■概要

AIを活用したデータの収集・分析により、職員の経験や勘に頼ってきた道路や河川の管理業務の高度化・効率化を図る。

■期待される効果

- ・土木職員の業務高度化および効率化
- ・防災業務にかかるコストの縮減
- ・土木施設被害発生の事前検知および予防

■内容

AIを活用した実証試験の実施

- ・路面状態判別
- ・道路損傷解析
- ・河川水位予測・観測
(上記をはじめとした、防災とAI等を組み合わせたソリューションを企業と共同実証)

■スケジュール

R2年12月 路面状態判別技術の実証実験開始



■連携先企業・団体

株式会社Spectee、(一社)日本気象協会、LINE株式会社 等

■予算額等

0千円 (R3)

■担当部局

土木部道路保全課、砂防防災課

2 5

50

AI音声対話サービスによる道路情報案内

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■概要

ドライバーから電話問い合わせのある県管理道路の規制情報等をHP「みち情報ネットふくい」と連携したAI音声対話サービスにより、24時間いつでも対応可能な情報提供を行う。

■期待される効果

- ・ドライバーに対するスピーディーな情報提供
- ・職員の電話対応業務の削減
(1日あたり最大20~30分)

■内容

AI音声対話サービスによる道路情報案内

- ・道路管理情報システム上で管理する県管理道路の規制情報等をデータベース化し、AIが学習
- ・AI音声対話サービスによりドライバーからの電話問い合わせに自動対応

■スケジュール

R2年12月 実証実験開始



■連携先企業

株式会社サイバーエージェント、
株式会社AI SHIFT

■予算額等

0千円 (R3)

■担当部局

土木部道路保全課

51

道路施設データベースの導入・活用

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■概要

県管道路施設の施設諸元や点検データ、補修履歴などのデータを一元化したクラウド型システム（SIMPL）を導入し、現場でもスマホ等から確認することにより、維持管理業務の効率化を図る。

■期待される効果

- ・道路施設維持管理業務の効率化
- ・データ損失のリスク軽減

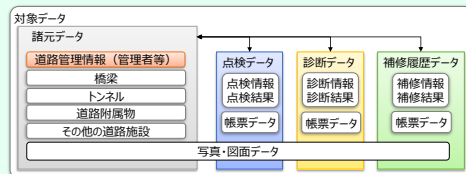
■内容

道路インフラデータベースシステムの構築

- ・スマホ、タブレットを利用したデータの確認
- ・点検、補修履歴の情報共有
- ・収集したデータの分析

■スケジュール

R1年6月導入（橋梁）
R2年4月拡張（トンネル、道路附属物）
今後、道路標識、道路照明等に拡張予定



■事業主体

県、県内市町

■予算額等

100,000千円（5年間）

■担当部局

土木部道路保全課

2 6

52

ビッグデータの利活用による政策立案

行政のDX
スマート×県庁

施策の概要

■概要

ビッグデータを観光や防災、交通、まちづくりなどあらゆる分野の政策立案や成果分析のツールとして活用することによりEBPM（Evidence-based Policy Making）を実践する。

■期待される効果

- ・政策立案や成果分析の業務の高度化

■内容

ビッグデータの購入、活用

- ・民間企業の提供する人流データ等を購入し活用

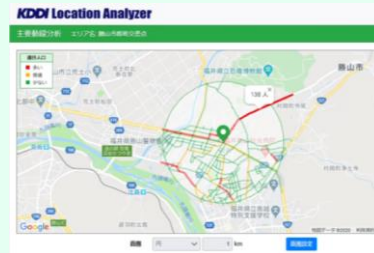
職員向けビッグデータ活用研修の開催

- ・基本的な使用方法や他県での活用事例の紹介

■スケジュール

R3年度 ビッグデータを購入し県庁各課で活用

▼ビッグデータの例（KDDIのLocation Analyzer）



■連携先企業

IT企業 等

■予算額等

7,260千円（R2 2月補正）

■担当部局

地域戦略部未来戦略課

53

市町におけるDXの推進

行政のDX
スマート×市町

施策の概要

■概要

県と市町が連携して、情報システムの県・市町の一体化等を推進することにより、県民の利便性向上と業務効率化、調達コストの削減を図る。

■期待される効果

- ・県・市町間での迅速な情報共有
- ・調達コストの削減

■内容

県・市町共同「ファイル共有システム」の利用

- ・「Microsoft Teams」を県・市町間に導入し、県・市町間でチャットやファイル共有、WEB会議を実施

新たな電子申請・施設予約サービスの移行検討

- ・県と市町が共同運用している既存サービスに、「ワンスオンリー」機能等を付加させるため共同で検討

■スケジュール

R2年度 ファイル共有システムの利用開始

R3年度 ファイル共有システムの継続利用
電子申請サービスの移行検討の開始



■事業主体

県、県内市町

■予算額等

2,489千円（R2 2月補正）

■担当部局

地域戦略部統計情報課、市町協働課

2 7

54

マイナンバーカードの取得促進

行政のDX
スマート×市町

施策の概要

■概要

手軽に県民がマイナンバーカードの申請を可能にする環境を整備することにより、デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードの普及を促進する。

■期待される効果

- ・ 県民の利便性向上
- ・ 行政のデジタル化の促進

■内容

マイナンバーカードの取得促進

- ・ マイナンバーカードの申請用端末を県内市町等に配備

■スケジュール

R3年度 マイナンバーカードを簡単に申請できる出張申請受付を県内各所で実施



■事業主体

県、県内市町

■予算額等

21,226千円（R2 2月補正）

■担当部局

地域戦略部市町協働課

55

デジタル広報の実現

行政のDX
スマート×広報広聴

施策の概要

■概要

幅広い世代の県民が身近なデバイス（スマートフォンやタブレット）を利用して、県政情報をスムーズに入手できるように、SNSの活用や広報誌のデジタル化を進める。

■期待される効果

- ・ 県民一人ひとりの属性（年齢、性別、地域等）に応じた情報の提供
- ・ 県政情報の入手が時間や場所を問わず可能

■内容

YouTube広告を活用した情報発信

- ・ インストリーム広告を活用
- ・ 属性を絞って配信

広報誌「NEWSふくい」のデジタルブック化

- ・ Web上で広報誌を閲覧できる電子書籍
- ・ ハイパーリンクや多言語配信、音声読み上げ機能を付与

■スケジュール

R3年度に開始予定



■連携先企業

県内企業 等

■予算額等

5,929千円（R3 当初）

■担当部局

総務部知事公室広報広聴課

2 8

56

自動応答システムを活用した県民相談

行政のDX
スマート×広報広聴

施策の概要

■ 概要

県HPに掲載している「県民くらしナビ」に自動応答システム（チャットボット）を試験的に導入し、県民が求める県政情報へのアクセスの利便性向上を図る。

■ 期待される効果

- ・ 県政情報へのアクセスの利便性向上
- ・ 業務の効率化

■ 内容

「県民くらしナビ」への自動応答システムの導入

- ・ 県民の暮らしに関わる制度や相談窓口を紹介している広報広聴課所管HP「県民くらしナビ」での自動応答システムの試験運用

■ スケジュール

- R2～3年度 試験導入、利用状況の検証
- R4年度 本格導入（予定）



■ 連携先企業

IT企業

■ 予算額等

3,212千円（R2 トライアル枠予算）
4,664千円（R3）

■ 担当部局

総務部知事公室広報広聴課

57

「現場でトーク」のオンライン化

行政のDX
スマート×広報広聴

施策の概要

■ 概要

県政に県民の声を反映させるための県政情報の提供と意見交換を行う「現場でトーク」にオンラインを活用した新たな方式を導入し、県民の声を聴く機会を拡充する。

■ 期待される効果

- ・ 県民の声を聴く機会の多様化
- ・ 新型コロナウイルス感染対策に配慮した意見交換等の実施
- ・ 業務の効率化

■ 内容

「現場でトーク」のオンライン化

- ・ Web環境が整っていない団体等に対し、オンラインによる「現場でトーク」を実施する場合に必要な通信機器の貸与などのサポートを行う。

■ スケジュール

- R2年度 2月より本庁・合同庁舎に機器を配備し、オンラインによる「現場でトーク」を開始



■ 連携先団体

県内企業 等

■ 予算額等

4,606千円（R2 9月補正）

■ 担当部局

総務部知事公室広報広聴課

2 9

58